

令和4年度 高冷地水稻生育速報(第3報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(7月3日調査)

調査日	年度	草丈 (cm)		茎数 (本/m ²)		葉色				葉齡	幼穂	
						葉色板		SPAD値				
たかやまもち	本年	52.8	(104%)	500	(87%)	4.1	(-0.1)	38.2	(+0.7)	11.0	(+1.4)	1~2mm
	前年	46.1		584		4.2		39.4		10.1		
	平年	50.7		574		4.2		37.5		9.6		
あきたこまち	本年	53.0	(105%)	482	(86%)	4.5	(-)	41.4	(+1.8)	11.1	(+1.4)	-
	前年	48.8		584		4.4		42.4		10.4		
	平年	50.7		561		-		39.6		9.7		
ひだほまれ	本年	58.7	(109%)	462	(92%)	4.1	(+0.4)	40.5	(+5.3)	11.2	(+1.1)	-
	前年	48.4		433		3.8		37.4		9.7		
	平年	53.7		504		3.7		35.2		10.1		
ひとめぼれ	本年	51.6	(103%)	584	(85%)	4.2	(+0.1)	40.6	(+3.0)	10.8	(+1.1)	-
	前年	47.1		644		4.3		40.5		9.8		
	平年	50.0		691		4.1		37.6		9.7		
コシヒカリ	本年	55.7	(104%)	553	(88%)	4.1	(+0.0)	39.6	(+2.2)	11.0	(+1.3)	-
	前年	49.0		608		4.3		39.8		9.4		
	平年	53.5		629		4.1		37.4		9.7		

栽培条件: 移植5月16日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

平年値: 過去5年間(H29年~R3年)の平均値
()内の数値は対平年値

2. 気象状況と当面の管理

1) 気象概況

6月下旬の平均気温は平年よりかなり高く、日照時間は平年より多かった。

2) 生育概況

生育は、平年と比較し、草丈やや高く、茎数は少ない。葉色値は平年並み~やや高く、葉齡は平年より大きい。

3) 病害虫等の発生状況

イネドロオイムシの発生がみられる。発生密度はそれほど高くないため、防除は行っていない。発生密度の高いほ場においては発生状況に合わせ防除を検討する。

4) 今後の管理

「中干し」は生育促進、土壌中のガス抜きの効果がある。また、秋作業を楽にするためにも6月末~7月上旬までに実施するようにする。中干し後は間断灌水を行う。また、健全な生育のため7月上旬までにケイ酸カリを施用する。また、穂肥時期を逃さないよう、幼穂長を確認する。

令和4年(2022年)の気象図

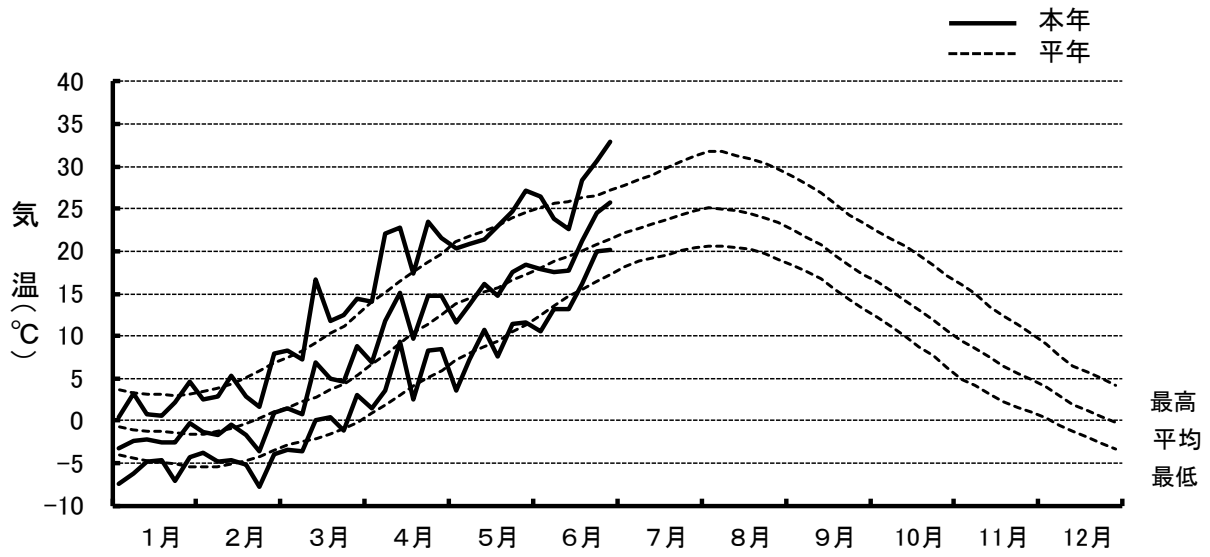


図1 本年度の半旬別気温の推移(高山市)

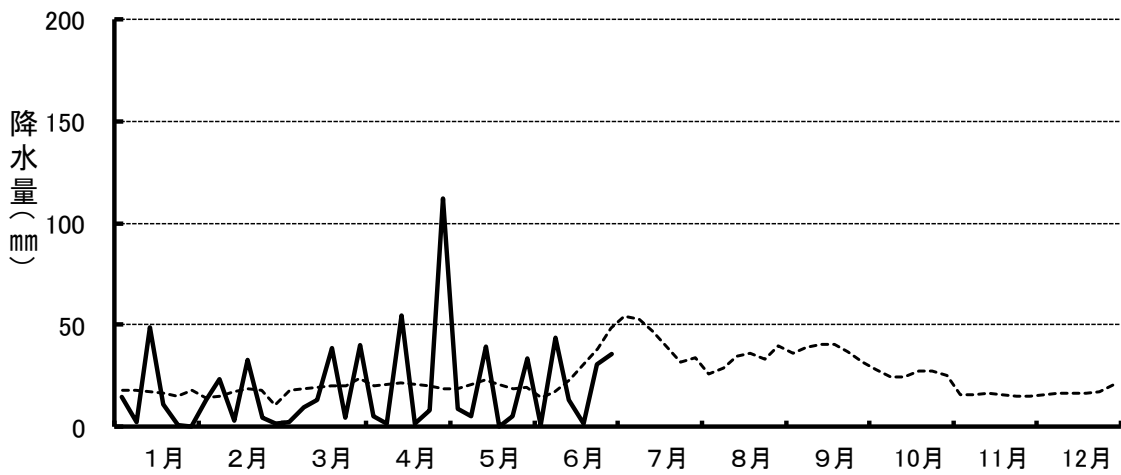


図2 本年度の半旬別降水量の推移(高山市)

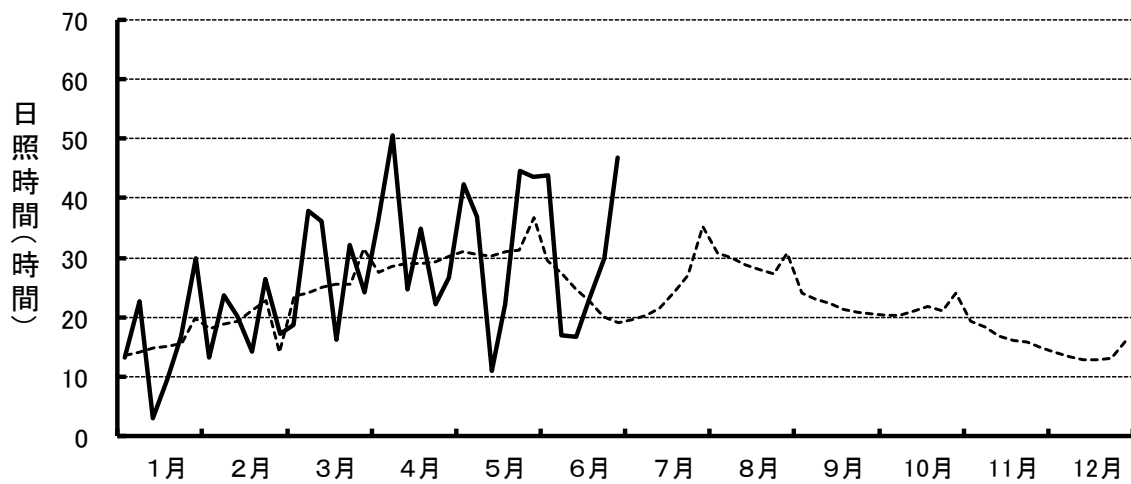


図3 本年度の半旬別日照時間の推移(高山市)